単価UPメニューづくりのためのチェックシート

大項目	V	中項目	基準・備考
メニュー作り		専門化(シンプル化)	心理学でいう選択回避の法則が働く、6個のジャムを24個にしたら売り上げが減った
		コースメニュー化	必要なものは、セット販売、不要な施術はマイナス方式
		極端の回避性の法則、アップセル	松竹梅の法則、A・Bの2つの価格なら1:1、A・B・Cの3つなら2:6:2になる
		メニュー名の改善	商材名や工程のネーミングはダメ、得られる価値がイメージできるネーミングがGOOD
		サービスの分解と言語化	サービスを分解、本来の価値を伝えて価値と価格の適正化(価値の見える化、言語化)
		既存客の据え置き(二重料金)	料金改正時は既存客は据え置き、優遇措置で特別扱い
		ハイグレードメニューの追加	スイートルーム形式、上位2割のファン客へのオファー、平均単価の10倍から、年間契約など
		接触用リピートメニューの設置	無料から低価格で接触回数を増やし、信頼残高を構築(ザイオンス効果)
新メニュー リニューアル までの準備		スタッフへのプレゼン	スタッフにとってのメリットを説明し、どのようによくなるかのプレゼン
		スタッフへの個人面談	説明したことへの、不安やその他分かってないことへのフォロー
		新メニューの価値を説明するマニュアル作り	メニュー分解したことへの、価値づけを言語化し、マニュアルをつくる(動画の方がいい)
		新メニューの技術的レッスン	新しい技術メニューを取り入れる場合は、実験、レッスンする
		新メニューの説明ロープレ	新メニューの価値説明をロープレにてレッスンする
		既存顧客様のデシル分析	新メニューではなく、旧メニューでもよいお客様(既存ロイヤルカスタマー)の仕分け
		既存顧客様への据え置き期間の設定	お店や、スタッフの状況に合わせて、据え置き期間を決める
		既存顧客様、新規客へのプロモーション	既存顧客様へのお知らせチラシ、新規客へのプロモーションを考える